

令和3年度第2回
大分市子ども・子育て会議

委員からのご意見

令和3年度第2回大分市子ども・子育て会議 委員からのご意見

	ご意見	大分市の見解	担当課
1	ここ数年の間に待機児童をなくす取り組みとして、市内のあらゆるところに保育所(こども園)ができています。設置基準(防災・防火・遊び場など)は十分に満たされているのか心配になる。保育の質は十分なのか。	保育所を設置する際は、「大分市保育所等設置認可候補者選考委員会」に定める設備の基準を審査のうえ認可していることから、設備基準については十分に満たされています。 また、保育の質の確保については、本市では、私立の認可保育所等への巡回支援に当たる職員を配置しており、保育現場において、若手保育士のスキルアップや保護者への適切な対応方法に関する助言や指導等を行っています。	保育・幼児教育課
2	希望する、家や職場に近い保育所(こども園)に入所できているのか。	保育施設、年齢(クラス)などにより状況には異なりますが、申込みが多く入所者が定員まで充足し、新たに入所が出来ない保育施設もありますことから、近隣施設の空き状況等の情報をホームページ等で発信するとともに、窓口においては保育コンシェルジュを配置するなど丁寧に保育施設入所の説明を行っているところです。	子ども入園課
3	①の教育・保育施設の定員が減少していることが気になりましたが③の待機児童が"0"ということで、最低限の目標は達成できていると思います。 ただ、未入所児童数が551名で、この児童がどこでどのような保育環境の下にいるのか知りたいと思います。(無認可施設?在宅?)無認可であっても、ポリシーを持って質的に高い保育を提供している施設もありませんから一概には言えませんが、大分市に住むすべての未就学児について、「誰一人取り残さない」幼児教育保育施設を考えていくとき、資料としてほしいものだと思います。	教育・保育施設の定員について、1号認定の定員は減少していますが、保育を必要とする2号・3号認定の定員については、保育施設の新規開設や既存施設の整備等により定員拡大を図り、増加しています。2号・3号の未入所児童がどのような保育環境にあるのか、すべて把握はできておりませんが、認可外保育施設を利用する方、育児休業を延長する方、就労開始を延長する方等様々だと認識しております。 引き続き、計画的な定員確保に努め、より多くの方が希望する保育施設を利用できるよう努めてまいります。	子ども入園課
4	幼児教育・保育の「質」についても議論していく必要を感じます。	平成30年策定の「大分市幼児教育・保育振興計画」及び令和2年策定の「大分市幼児教育・保育カリキュラム」等に基づき、本市の幼児教育・保育施設間の連携の推進はもとより、市立施設における拠点施設機能の充実を図ることで、本市における幼児教育・保育の「質」の向上に努めているところです。また、幼児教育・保育施設間において合同研修等の機会を通じ、相互理解を深め、横のつながりの強化にも一層努めております。	保育・幼児教育課
5	幼稚園の園医をしています。年々、生徒数が減少しています。施設は立派なのにもったいない。利用時間を私立のように長くすると利用者は増えると思います。	公立幼稚園における利用時間の延長としては、現在3園において一時預かり事業を実施しております。事業の拡充については、認定こども園化が予定される幼稚園を対象に検討してまいります。	保育・幼児教育課
6	保育園の保育士の子が、保育園に入園できなかったそうです。保育士も足りてないようなので、優先的に入園してはどうでしょうか?	認可保育施設への入所選考に際しては、「大分市保育所等入所選考基準」に基づいて、指数計算を行い、指数が高い家庭から順に利用調整を行っております。保護者が認可保育施設の保育士として勤務する場合は、一定の要件はございますが、優先利用できる措置を講じております。しかしながら、利用を希望する保育施設の入所状況などにより受け入れが難しい場合もございます。	子ども入園課
7	待機児童数は4月で一時的に0になりますが、実際産後1年で働きたい人も多数いるのに仕事できない状況があります。	待機児童数はゼロとなりましたが、認可保育施設の入所申し込みを提出しながら、入所に至っていない未入所児童数は令和3年4月時点で551人と依然高い状況となっております。 引き続き、利用可能な保育施設を丁寧にあっせんするとともに、計画的な定員確保に努め、より多くの方が希望する保育施設を利用できるよう努めてまいります。	子ども入園課
8	(報告について) 子ども子育てクーポンの使用の追加の意見です。子育てに必要な、おしり拭き、離乳食など幅広く認めるのはどうでしょう?チャイルドシート購入代もいいと思います。	おおいた子育てほっとクーポンは、平成27年度から、子育て支援サービスを知って、気軽に利用していただくことを目的に交付しており、クーポンが利用できるメニューの追加については、随時、検討を行っており、令和3年4月からは、「おむつ・ミルクの購入」について追加したところです。 委員ご提案のメニューの追加につきましても、県と協議を行い、検討してまいりたいと考えております。	子育て支援課
9	コロナ拡大により子育て会議の開催ができずとても残念ですね。この規制された環境が長く続くことで経済のみならず、人の心までが貧困になっているようで、子どもたちの成長や現場の保護者の対応に精神的に追い込まれる場合もあり、幼児教育・保育現場のあり方を今一度子育て会議で考えてみる必要があるかと思えます。少子化による利用定員の見直しや1号子どもの減と2号、3号子どもの増による教育の質の向上など(特に一人ひとりの子どもたちの情緒の安定)、今後は真剣に取り組む必要があるかと思えます。と同時に保護者の精神的安定と子育てのあり方(グレーゾーンの子どもの数増加による対応)なども話し合っただけだと思えます。大分市の子どもたち一人ひとりへの思いに沿った施設整備計画(公立の幼保連携型園の必要性を含む)を慎重に議論しなければと思えます。	子育て交流センターなどの関係機関との連携をはじめ、保護者対応や特別な教育的支援を必要とする子どもの保育の在り方などをテーマとした研修機会の確保に努めてまいります。また、少子化による利用定員の見直しについては、出生数の推移や幼児教育・保育施設で利用希望者数の状況を踏まえながら慎重に検討してまいります。 また、市立認定こども園については「大分市立幼稚園及び保育所の在り方の方針」にその設置の方向性が示されているところであり、認定こども園は保護者の就労等の家庭環境に関わらず利用できる面から保育サービスの向上に資するものであると考えていますので、その設置についても、引き続き検討してまいります。	保育・幼児教育課 子ども企画課